

阿波市立御所小学校

1 学校の概要

- ① 児童数 195名
- ② 校訓，めざす児童像等
 - 校訓 「つよく，やさしく」
 - めざす児童像
 - ・進んで学ぶ子（自主）
 - ・心をこめて行う子（誠実）
 - ・思いやりの心を持ち，協力できる子（共同）
 - ・たくましい体力（健康）



③ 環境目標・テーマ

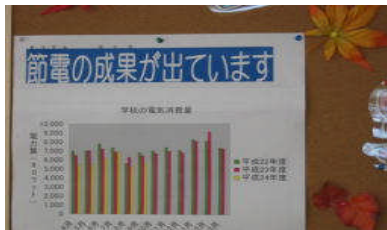
広げよう，学校と地域の連携で取り組むエコプロジェクト
～育てよう，自然を大切に，郷土を愛する児童づくり～

2 行動方針

- ① 節電・節水に努める。
- ② ゴミの分別に努める。
- ③ リサイクル活動を行う。
- ④ 地域の清掃活動に取り組む。
- ⑤ ゴーヤを育て，室内温度低下に努める。
- ⑥ 地域の河川における環境学習に取り組む。

3 行動

① 節電効果



電気消費量をグラフ化した

② 節水ポスター



目の付くところに貼った

③ ゴミの分別



市で決められたように分別

④ リサイクル活動



牛乳パックを洗って収集

⑤ ごみ0運動



宮川内谷川周辺の清掃活動

⑥ 環境学習（汚水と河川）



出前授業による環境美化

⑦ 教室南のゴーヤカーテン



ゴーヤカーテンは平均 2.0℃
ヘチマカーテンは平均 0.9℃
室温が低かった

⑧ 環境掲示コーナー



活動の様子を写真や感想
文で紹介して啓発

4 具体的効果

- ◆ 4年生が節電・節水のポスターを作り、全校児童の前で呼びかけた。歯みがきの時、水道を出しっぱなしにしていると、友達に注意をしてあげている姿を目にした。
- ◆ 節電カレンダーを全教室に掲示し、毎日反省することによって節電への意識が高まった。
- ◆ ゴーヤカーテンを育てることで自然に優しい節電を考え、電力使用量をグラフ化することで節電への意識が高まり、使用量が減少し効果が出てきた。
- ◆ 給食の牛乳パックは開き、バケツの水で毎日洗っている。バケツの水は花の水やりに再利用し、牛乳パックはリサイクルに回している。
- ◆ 学級でもゴミの分別をし、紙はリサイクルに回し、ゴミを減らす活動がだんだん徹底してきている。自然保護のためにリサイクルをすることの大切さを認識するようになった。
- ◆ ごみ0清掃活動で地域を美しくしたり、参観日などの行事に保護者にリサイクルごみを持参してもらったり、毎週リサイクルの日を設けてリサイクルごみを収集したりして、家庭を巻きこんだリサイクル活動が進みかけている。
- ◆ 出前授業による環境学習を2回実施し「水」の循環に関心を持ち、日ごろから「水」を大切にすることや、川や海をきれいにしようとする意欲につながった。
- ◆ 教職員も紙の使用量を減らすため、用紙の裏面を積極的に使用するようになった。
- ◆ 環境に関する掲示コーナーを作り、各学年の活動を全学年の児童や保護者に知らせ、資源保護の啓発に役だった。

5 改善点

- ◆ 児童が主体的に取り組めるようにするための組織づくりを工夫する。
- ◆ 今年度の取り組みをもとに、各学年や全校での取り組みを年間計画に位置づけて計画的に進める。
- ◆ 家庭への啓発活動を工夫・充実させ、地域と連携を深めながら取り組みの推進を図る。